

令和８年度 第１回亀山市図書館協議会 会議録

日時 令和８年７月１６日（木） 午後２時～４時

場所 亀山市立図書館 １階 多目的室

出席委員 岡野 裕行 委員（会長）
井戸本 吉紀 委員（副会長）
井上 香代子 委員
川口 恭子 委員
下重 智子 委員
安田 正 委員
岩田 温子 委員
木島 史雄 委員
服部 智貴 委員

欠席委員 原 美津子 委員

事務局 亀山市教育委員会
教育長 中原 博
教育部長 大平 守
図書館 館長 高重 京子
主幹 山川 美香
主幹 大澤 亮二
主任主査 大川 真梨子

■開会

【事務局】

令和８年度第１回亀山市図書館協議会を開催する。

本協議会は「亀山市図書館条例」に基づき開催する。

事項書に基づき、会議の終了は１５時３０分を目途に進めさせていただく。

１．あいさつ

【教育長】 （あいさつ）

【岡野会長】 （あいさつ）

【事務局】 ここからの進行は条例施行規則第７条第２項の規定により会長にお願い
する。

2. 報告事項

(1) 亀山市立図書館入館者数100万人達成について

【事務局】 (事務局より説明)

【木島委員】 人口5万人の市で1000日程度で100万人というのは他の市の施設より利用者が多いのか少ないのか比較資料はあるか。

【事務局】 他の施設の資料は持っていないが、令和6年度の入館者数は27万人で令和7年度は31万6千人、1日あたりが令和6年度で900人程度、令和7年度は1000人を超える入館者数があった。普通であれば27万人程度で推移するか年々減少していく傾向と言われていたが昨年度多くのイベントを開催したこともあり入館者数も増えたかと思う。

【木島委員】 設備がきれいになり利用者が増えたとうまくアピールできれば予算をかけてもよかったという認識にもつながるかと思う。駅前に移転して増えたというのを時間的な推移とか他の市に比べて利用者が多いというアピールができればと思い尋ねた。

【事務局】 「図書館で笑顔」エピソードの募集をしたところ駅前に移転しここで交流が生まれたというような記載も目にし、うれしく思うとともに読書だけではなくいろいろな交流も生み出せるようなことも進めなければならないと再度認識したところである。

【岩田委員】 100万人ということを聞いて大変感激し、広報の表紙にはいつ載るのだろうかと思っていた。来館していない人たちにももっとアピールしたらよいと思う。駅から見えるところに垂れ幕を吊るすなど派手なアピールも時には大切かと思う。8月の広報に100万人達成のセレモニーが載ればと思っているがどうか。

【事務局】 8月号の「まちのできごと」のページに掲載される。

【井上委員】 セレモニーでは本当に頑張ってくれた様子が伝わってきた。その中でスライドショーがあったが、関わった者の一人として非常に意味のある資料の一つになっていくと感じた。こういう資料を皆様に見てもらえるようにすると、みんなにとっても自慢の図書館に繋がっていくのではないかと感じた。

【事務局】 スライドショーは開館からの振り返りをスクリーンに映した。ボランティアの紹介やワークショップの様子など織り交ぜて作った。100万人ということで100枚のスライドにしたがそれでも語れないほどたくさんあったので今後も第2弾ではないが活用していければと思う。

【川口委員】 そのスライドショーはどこかで見られるか。

【事務局】 来年度に図書館100年プロジェクトもあり、そのようなところでも振り返りながらやっていければと考えている。

【井戸本副会長】 先程の100万人の垂れ幕のことだが、駅前のモニターが今は調整中だが直ればそこに表示できないかと思う。

(2) 令和7年度図書館の運営状況について

【事務局】 (事務局より説明)

【井戸本副会長】 資料2の①の図書館を核とした身近な読書環境づくりを進めますの評価の③図書館ネットワークの充実とサービス提供の体制を図るため、市民協働センターみらいに「地域読書活動拠点」を設置しましたとあるが、どのようなになっているか。

【井上委員】 市民協働センター「みらい」は、昨年4月より市民活動・ボランティアセンター「ぷらっと」を開設している。その本のコーナーを読書活動拠点とし、図書館のリサイクル雑誌を配架している。またリーディングトラッカーなどを手作りして周知等もしている。市民活動をしている人に好まれるようなジャンルを選定してもらっている。いい取り組みにしたいと思っている。

【事務局】 なかなか進んでいなかった読書活動拠点についても井上委員と相談して設置する運びになり、ぷらっとに来られる方からもこの雑誌が読みたいなどの希望もあり、早く実現につながったことに感謝する。継続して取り組みを進めていきたいと思う。

【井戸本副会長】 図書館で保存しなくなった雑誌を置いてあるということで図書があるわけではないのか。

【井上委員】 今はまだそこまで進めていないが、今年度どうやっていこうか考えているところである。

【井戸本副会長】 プらっとで取り組まれた経験をもとに、他の地区も声が上がったところから連携していけばいいなと思い質問した。

【木島委員】 書籍は、休憩コーナーに自由に持って帰っていい本が置いてあったかと思うが、それとは違う仕組みで運用されているということか。

【事務局】 リサイクル、読書活動拠点、また関の図書室に行く本もあるので仕分けしている。

【木島委員】 それは雑誌だけではなく普通の書籍もそうしているということですね。図書館で保存すべきものとそうではないものはかなり性格が違うと思うので動きを活発にしたほうが書籍が有効に利用してもらえと思うので、リサイクルというのはいいと思う。

【事務局】 寄贈いただく本も多くあり、登録するもの、リサイクルするもの、読書活動拠点に行くものと仕分けをしているので今年度も進めたい。

【木島委員】 ③蔵書計画に基づいた、図書資料の収集や保存を進めますとあるが、今後の対応に①資料収集の重点、蔵書全体のバランス、利用者ニーズを踏まえ計画的な資料収集を進めていきますとあるが、計画的というのは何か取り決めたものはあるか。また、③レファレンス情報の蓄積を継続し、データベースの充実を図ることで、より質の高いレファレンスサービスの提供に繋がりますともあるが、そのバランスというのは蔵書全体のバランスというような、指針となるものがあるのか。

【事務局】 蔵書計画に基づき進めているが、児童図書に力を入れてきた部分があ

- り、充実したといわれるようになってきているが、もう少し年齢の低い児童が対象の本を充実したいと思っている。蔵書冊数の関係もあるので、調整しながら蔵書の充実を図っていきたいと考えている。
- 【木島委員】 年齢ごとのバランスの話をいただいたが、小説のように読む本、資料として使う本、貴重な本のバランスというか資料の性格やジャンルや地域性もあり、単純に全体のバランスというだけでは見えにくいものもあるかと思う。
- 【事務局】 開館当初に市内の方から膨大な貴重資料を寄贈いただき、まだ処理できていない状況にあり、蔵書数には表れていないがこれを整理していくのが課題である。これを整理したうえでバランスといったものも考えていきたいと思う。
- 【木島委員】 直接的な本のバランスではなく、全体のジャンル、資料的価値などを計画を立てそれに合わせて動くのがよいと思う。
- 【安田委員】 私は鈴鹿川等源流の森林づくり協議会の会長を務めており、図書館で野登山の状況などを時々展示をさせてもらっている。市民活動団体が図書館で活動の発表ができるというのは非常にありがたい。
図書館は教育委員会の所管だが、健康都市大学の成果など福祉や健康などの分野の情報発信についても図書館が発信する拠点という機能を担っていければと思う。映像発信も含め、間口を広げてもらいたい。
- 【事務局】 実際に福祉とかいろいろな部署と一緒に情報発信できないかという声かけもしている。庁内の各部署と連携して新しい発信ができればと思う。
- 【井戸本副会長】 実施方針③蔵書計画に基づいた、図書館資料の収集や保存を進めますの評価に④館内でのレファレンスに加え、メールによる問合せにも対応し、内容を図書館情報システム内にデータベースとして蓄積した。前年度から220件のデータを蓄積し、今後の対応に活用していきますとあり、今後の対応に④レファレンス情報の蓄積を引き続き行っていくとなっているが、公開も検討いただくといいと思う。レファレンスコーナーの知名度が低いということだが、問合わせるときちゃんと答えてくれるということがわからないと問合わせもされないと思う。生成AIが答えてくれるという時代だがウェブ上にデータがないローカルな質問はなかなか調べられないので亀山市にまつわる質問にこう答えたというものがサンプルが出ているともっとローカルな質問を聞いてもいいんだとなるかもしれないので何点か公開することを検討してもいいのではと思う。
もう一つは「私たちの亀山アーカイブ」が更新できなかったというのは先程の100万人のスライドショーをアーカイブに入れて見られるようにするのはどうなのかと思う。
- 【事務局】 そのようなことも検討しながら進めたい。
マイタウンかめやまで放映された番組に歴史に関係したものがあり、データも貰っているので作業を進めたいと思う。
- 【岡野会長】 レファレンスに関連して、国立国会図書館のレファレンス共同データベ

- ースへ参加してデータ提供などはしているか。
- 【事務局】 していない。
- 【岡野会長】 こういった外部のデータベースを活用できると亀山市のレファレンス事例も広く共有できるので、国立国会図書館のレファレンスデータベースを活用するのも一つの手である。
- 【木島委員】 レファレンスについては国立国会図書館がレファレンスアーカイブをやっていて、質問と回答を提供すればいいだけなのであまり手間もかからないので活用するとよい。
- 【井上委員】 レファレンスや予約制度の件数が増えている。窓口での新規登録や更新の時に丁寧に対応いただいているので増えてきているのかと思う。
また、④子どもの読書活動を推進しますの評価の⑦新入学の高校生に利用案内や利用カードの作成の働きかけにより、若年層の利用促進につながる取組を行ったというのは、非常にうれしく思う。
また、③蔵書計画に基づいた、図書館資料の収集や保存を進めますの今後の対応の②地域の資料として収集した情報については、利用者が活用しやすいよう、効果的な配架方法を検討し、整備を進めますとあるが、具体的な配架方法の案などあれば教えてほしい。
- 【事務局】 3階の地域資料のコーナーの整備について課題として挙げさせていただいた。
- 【服部委員】 亀山市公式LINEがあり、図書館のイベント情報なども掲載されるがこれを活用してレファレンスや予約などが連携できるかというのではないか。
- 【事務局】 LINEが個人情報扱う部分と連携できるかというのは課題になってくるが可能な限り便利な方向で進められればと思う。調整が必要となるのでご意見として承る。
- 【川口委員】 ③蔵書計画に基づいた、図書資料の収集や保存を進めますの評価の番号と今後の対応の番号は対応しているのか。評価の②電子書籍のことと今後の対応の②の内容が違うので番号がずれているのではないか。もし間違っているのであれば後でいいので訂正してもらいたい。
- 【事務局】 修正があれば後で示させていただく。
- 【岡野会長】 ③蔵書計画に基づいた、図書資料の収集や保存を進めますの活動指標の測定値で0になっている部分はなぜか。
- 【事務局】 ひみつ本更新回数については開館当初に作成してから更新ができていない状況。新しい記事を追加するにあたり、文化課のまちなみ文化財グループと進めていければと思う。また、行政資料収集周知回数については、行政当局に資料の収集を周知することが滞っていた。今年度はできる部分で進めていきたいと思っている。
- 【服部委員】 資料3の利用者アンケート結果報告の1ページと3ページの中高生の人数が違うがなぜか。
- 【事務局】 1ページ目の年齢別の人数はアンケート回答者の年齢構成であり、3ペ

ージ目については来館の主な交通手段の回答に対する年齢構成となっているので相違が生じている。

【井戸本副会長】 前回調査よりウェブの回答が増えて若年層の回答が増えたのはいいと思う。高齢者もQRコードに慣れてきたということか。集計も簡単で回答へのハードルも下がるのでこの形で引き続きお願いしたい。回答数も増えているがさらに回答数を増やせるようお願いしたい。

6ページ目の分析で「週2～3回」や「ほぼ毎日」の利用者の多くは2時間以内、もしくはそれ以上の長時間型の滞在が多くみられ、「習慣的な学習の場所として図書館を利用していると考えられる」ということは滞在型図書館でそこで学ぶということであり、いいことだと思う。11ページの分析でも「テスト勉強以外の自習で20代またはそれ以上の層で資格取得や学習の利用が増えていると思われる」ということも学びなおしの場に活用されておりよいと思う。

【井上委員】 13ページの図書館サービスのレファレンスやデータベース利用などの認知度について、登録や更新時に窓口で周知を続けていただいているから年々認知度が上がっているのかなと思う。

15ページの館内の清掃に対する満足度が高い。テキパキとした動作で清掃していただいております、大変ありがたい気持ちで見守っている。

【服部委員】 12ページのところの設問で、「わからない・不明など」と「知らない」の違いは何か。

【事務局】 「知らない」というのは、そういったサービスがあることを知らないということで、「わからない・不明」というのはそういったサービスの名称は知っているが内容まではわからないといった回答を想定したものである。

【川口委員】 メールで予約したり、貸出しの延長ができたり、新しい方法の周知対策に年に1回ぐらい入門講座のようなものをやってはどうか。

また、図書館のホームページがわかりにくいので改善が必要。

アンケートの分析をしたがその分析をもとに改善点をあげたり、改善の見通しを立てていく必要がある。

【事務局】 アンケートの結果を見て、知らないとか、わからないということがあるのだということを再認識したところである。おっしゃられるように、講座というか図書館を知ってもらうための初歩の講座のようなものも必要なのだという認識を持った。

サービス計画も今年度改定であり、アンケート結果の分析だけでなく計画に生かせるよう進めていきたい。

【井戸本副会長】 資料4の図書館利用状況の電子図書館の貸出・閲覧回数が8月だけ突出して少ないのはなぜか。

【事務局】 学校の授業等で読み放題パックの利用が夏休みで少ないことが影響しているのではないと思われる。

【木島委員】 資料5の蔵書冊数が18万2,172冊ということだが、未整理の寄贈

書籍はカウントされていないということか。また未整理の書籍は何冊ぐらいあるのか。何千冊の規模か。

【井上委員】 現職の時に受領した時のことだが、膨大な量である。

【事務局】 何千の単位で、かなりの量であり、整理には時間がかかる。資料の優先順位を考えながら整理することになる。

【木島委員】 市民に寄贈いただいたものでもあるし、買えない資料もあるかと思うので生かせるよう整理を進めていただきたいと思う。

【井上委員】 3階に配架し、入れ替えなどもして整理が進められていると思う。

【岩田委員】 行事をたくさんやってもらっていると思うが、ビブリオバトルについて2回の実施で参加者も9人と4人と少なく残念。入試やクラブの大会の日にあたっていたりと中学生は行きたいとか興味があるという子もいた。メンバーが決まってきているので広がるといいなと思う。
今年の実施は1回だけというのは少し残念で、過去に遠くから来てくれた人もいるので、継続して続けていただきたいと思う。

(3) 令和8年度事業計画について

【事務局】 (事務局より説明)

(4) 亀山市子どもの読書活動推進計画(第4次亀山っ子読書推進プラン)実績・進捗状況について

【事務局】 (事務局より説明)

(5) 亀山市図書館サービス実施計画の進捗状況について

【事務局】 (事務局より説明)

【井上委員】 図書館サービス実施計画を立てたときは、ありとあらゆるものを漏れなく盛り込もうという視点になりがちであった。要らないところは思い切って省き、これだけは必要というものをメインにしてメリハリをつけていくことが必要だと思う。例えば年報のようなものを作成してそれを資料にするといった工夫もあると思う。

3. 協議事項

(1) 令和8年度に策定、改定する計画について

【事務局】 (事務局より説明)

【木島委員】 蔵書計画の改定に取り掛かれると思うが、改定前の蔵書計画はあるか。また改定の方針があれば聞かせてほしい。

【事務局】 蔵書計画は2年前に委員の皆様にご意見をいただいて、期間の延長と内容の修正も少し行った。また、計画の内容が策定時から大きく変わるものでもないという意見もいただいたのでそのような方針になるかと思う。

その他連絡事項など

【事務局】 次回協議会の開催は１１月に予定している。各計画の骨子案をお示しし、意見をいただく。

（閉会）